

COVID-19陽性患者もしくは疑い患者に対する手術時の感染対策Case Report集計結果(9月14日から9月20日回答分)

	症例数	手術	
陽性患者	3	気管切開	1
		骨折手術	1
		帝王切開	1
COVID-19疑い患者	4	帝王切開	2
		開頭術	1
		上行大動脈置換術	1

事前シミュレーション実施	あり	3
	なし	3
	記載なし	1

手術室で気管挿管	5	McGrath	2
(喉頭展開1回で挿管)	(5)	喉頭鏡	2
		AWS	1

区域麻酔	1
既挿管	1

PPE	フェイスシールド	2
	ゴーグル	2
	シールド付きマスク	2
	記載なし	1
	N95	5
	サージカルマスク	1
	PAPR(動力付き)	1
	手袋2枚	6
手袋1枚	1	

自由記載

上行大動脈置換術		手術時間が長いためN95ではなくPAPRを選択したが、電池切れが発生した。
帝王切開		原則として全例のPCR検査を行っている。緊急手術では抗原検査の結果を待ってから手術としている。手術当日に抗原検査、PCR検査を提出し、抗原検査陰性のため通常とおり手術を行った。術翌日にPCR検査陽性(コピー数が極端に少ない)という結果が出て、職員の勤務調整、PCR検査など念のための対応をせざるを得なかった。いろいろと矛盾を感じた。
開頭クリッピング		学会の推奨通りに行った。